

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	23	利用者個人の思いや現在の状況がわかるような記録に乏しい。	誰が見てもわかるような書類の作成をする。	利用者個人別のADLや思いを記入している書類の作成をする。	2 か月	担当別が作成している。
2	45	車椅子の方の入浴支援はシャワー浴の事が多い。	介助が必要な状況にあわせた入浴支援をする。	介助が必要な状況にあわせて、2人介助で浴槽につかれるようにする。	3 か月	本人の希望を聞きながら2人介助で行っている。
3	11	ミーティングの場で職員それぞれが、意見を出さず事が少ない。	職員が思いや意見を出しやすい環境づくりをする。	各ユニットリーダーが中心となり、職員の思いをとりまとめて、管理者とリーダーが集まる会にて意見を出し合い、解決にむけていく。	3 か月	毎月1回管理者と各ユニットリーダーで集まる会を開催している。
4					か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備		運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
			利用者へサービス評価について説明した
			利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			その他()
2	自己評価の実施		自己評価を職員全員が実施した
			前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
			自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
			評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			その他()
3	外部評価(訪問調査当日)		普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
			評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
			対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開		運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った 3月3日「家族会」で行った。
			評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		3月末	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った 3月29日に行う予定・
			その他()
5	サービス評価の活用		職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する) 3月3日に行った。
			「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
			「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			その他()